

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	第1回西脇市総合計画審議会
開催日時	令和5年2月28日（火） 午前9時30分～午前11時30分
開催場所	西脇市役所 3階 大会議室
出席委員の 氏名又は人数	14名
欠席委員の 氏名又は人数	4名
出席職員の職・ 氏名又は人数	事務局4名
公開・非公開 の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	2名
議題又は 協議事項	1 西脇市総合計画審議会の運営について 2 第2次西脇市総合計画の概要について 3 まちづくり市民アンケートの結果について 4 行政評価（外部評価）の試行について
会議の記録（概要）	
発言者	<p><開会> お忙しいところ審議会に御出席いただき、感謝申し上げます。出席委員は14名で、西脇市総合計画審議会条例第5条第3項の規定による定足数を満たしており、会議が成立することを報告する。</p> <p><あいさつ> 委員就任の御快諾、会議への御出席について、感謝申し上げます。平成30年度に策定した第2次総合計画・前期基本計画が令和6年度で終期を迎えるため、今後2年間で後期基本計画を策定することとなる。 総合計画は、将来に向けたまちづくりの方向性を示す羅針盤のようなものである。計画を実効性のあるものにする</p>
事務局	
西脇市長	

	<p>ためにも、ぜひ委員の皆さまには積極的に議論をしていただきたい。</p> <p>< 委員委嘱 > 委員代表に委嘱状を交付</p> <p>< 自己紹介 > 委員各位から自己紹介</p> <p>< 会長及び副会長の選出 > 選出は事務局に一任。会長に三宅委員、副会長に杉山委員及び臼井委員を選出</p>
<p>会 長</p>	<p>< 会長あいさつ > 総合計画は市の最上位計画であり、様々な政策分野の今後の方向性を示すものである。計画の策定に当たっては、委員の皆さまの力を結集し、それぞれの専門分野から意見をいただくことが重要である。ぜひ自由に発言いただきたい。</p>
<p>副会長</p>	<p>< 副会長（杉山委員）あいさつ > 基本構想・前期基本計画に引き続き、今回の後期基本計画の策定にも携わることとなった。委員の皆さまとは、現在の地域の潮流などについて情報共有を行いながら、力を合わせてより良い計画づくりをしていきたいと考えている。</p>
<p>副会長</p>	<p>< 副会長（臼井委員）あいさつ > 総合計画に記載されている事項は多岐にわたるため、委員各位がそれぞれの得意分野について積極的に発言いただくことが重要であると考えている。よろしく願います。</p> <p>< 議事 ></p> <p>(1) 西脇市総合計画審議会の運営について 会議資料に基づき事務局から説明</p> <p>(質疑等はなし)</p> <p>(2) 第2次西脇市総合計画の概要について 資料（別紙1）に基づき事務局から説明</p>

	<p>(質疑等はなし)</p> <p>(3) まちづくり市民アンケートの結果について資料(別紙2)に基づき事務局から説明</p> <p>(質疑等はなし)</p> <p>(4) 行政評価(外部評価)の試行について事務局から説明</p> <p>(質疑等はなし)</p> <p><その他></p>
副会長	<p>本日は、主にこれまでの振り返りをしていただいた。</p> <p>基本構想・前期基本計画の策定時、委員の皆さまと一緒に様々なフレーズを組み合わせながら、苦勞して将来像を決定したことを思い出す。また、市単独では解決できない問題が今後多く出てくる中で、目指すべき方向性を示すキーワードとして「共発的発展」の記載を提案したことも印象に残っている。</p> <p>今後は外部評価にも取り組んでいくとのことであるが、どのように進めていくのか、事務局の考えをお聞きしたい。</p>
事務局	<p>庁内の事務事業評価で必要性が低いと判断された事業について、継続するかどうか意見をいただくほか、本日お配りしている「わかりやすい予算説明書」に掲載されている事業について意見をいただくことなどを想定している。</p>
副会長	<p>拘束力はないものの、ひとつの判断基準として委員から意見を聴取するという認識でよいか。</p>
事務局	<p>そのとおりである。</p>
副会長	<p>多岐にわたる政策・施策について一つひとつ議論していくのは難しいと思う。基本計画という大枠がどうあるべきかを主に議論していくという認識でよいか。</p> <p>また、議論の経過や策定された計画について、市ホーム</p>

	<p>ページに掲載するだけでなく、他の方法も取り入れるなどし、市民への周知方法を工夫してほしい。</p>
事務局	<p>事務局で作成した計画案について意見をいただくなど、できるだけ委員の皆さまが議論しやすい方法で進めていく予定である。</p> <p>また、計画の策定に当たっては、市民を対象としたワークショップの開催や、パブリック・コメントの実施などにより、周知を図りたいと考えている。</p>
委員	<p>それぞれの地場産業が持つ技術を、若者に受け継いでいくことが重要だと思う。</p>
委員	<p>産元商社において、自社ブランドを立ち上げる動きが出てきている。市内の空き店舗を活用し、自社ブランドの商品を販売できるような場所ができればと考えている。</p>
副会長	<p>まちづくり市民アンケートの結果を見ると、数値が10%程度上昇しているものがあり嬉しく思う。一方で、公共交通などの項目においては数値が下降しているものもあり、今後の課題である。</p>
委員	<p>子どもが大学に進学するとき、交通手段がなく市内から通うことが難しい。都市部への直通バスがあれば、市内に住みながらでも通勤・通学がしやすくなる。</p> <p>西脇市出身者が一度市外に出ても、また帰ってきたいと思えるまちにすることが重要であると考えているが、資料にはその観点が不足していると感じる。施策の優先順位をしっかりと検討するべきである。市民アンケートについても、意図が分からない設問がある。</p>
会長	<p>若者が帰ってきたいと思えるまちにするためには、交通機関をはじめとした物理的な条件をある程度整えないといけない。</p> <p>豊かな自然の価値などが見直されていることもあり、若者の地方に対する評価は高いと感じるので、地方への定住につなげるための施策が必要である。</p>
委員	<p>新型コロナウイルスの影響もあり、地域のつながりが薄</p>

	<p>れているように感じる。地域の祭りなどで、幼少期に楽しい思い出を作っただけで、地域への愛着が高まり、一度市外に出ても帰ってきたいと思ってもらえるのではないかと思う。</p>
事務局	<p>先日、市内の仕事の魅力を紹介する講座を中学生向けに開催した。このような取組を通じて、若者に地元の魅力を知ってもらうことが重要である。</p>
委員	<p>市内出身者に帰ってきてもらうためには、子どもたちに対して継続的に地元の魅力を伝える取組をしていかなければならない。また、日頃から自分たちのまちのことを良く言わない市民が多いと感じる。子どもたちが未来に希望を持つためには何が必要なのか、みんなで知恵を出し合って考えないといけない。</p>
委員	<p>「SDGsについてどの程度知っていますか」のアンケート結果が「一」となっている年度があるが、これはどういう意味なのか。</p>
事務局	<p>その時点でアンケートに設問がなかったものについては「一」と記載しており、設問を新設した年度から結果を記載している。</p>
委員	<p>SDGsに配慮した取組をしていかないと、災害による被害が拡大するおそれがある。今後も市民への周知に取り組んでいく必要がある。</p>
委員	<p>本日御意見のあった公共交通や産業振興の分野において兵庫県として取り組んでいることも多くあるので、今後情報共有させてもらえればと思う。県と市が連携できることは、しっかり連携を図っていきたいので御協力をお願いします。</p>
事務局	<p><事務連絡> 次回開催日については、令和5年度以降、あらためて連絡する。</p> <p><閉会></p>

問合せ先	西脇市都市経営部企画調整課 TEL 0795-22-3111 / FAX 0795-22-1014
------	--